

令和3年度 全国学力・学習状況調査の瑞穂町の結果、分析及び方策等について

I 令和3年度全国学力・学習状況調査の結果（国語、算数・数学）について

1 結果内容

小学校6年生及び中学校3年生を対象に、全国学力・学習状況調査が令和3年5月27日に行われ、その結果が公表されました。この調査は、児童・生徒の学力や学習状況の把握・分析を通して、教育委員会の取組の成果や課題の検証、改善を図るとともに、学校における教育指導の改善・充実に役立てることを目的として実施されています。児童・生徒にとっても学習の理解度を知らるためにとても大切な指標となっています。

※令和2年度は、実施していないため、令和元年度での比較となります。

令和元年度の結果と令和3年度の結果の比較（平均正答率）及び全国との差（％）

<小学校第6学年>

	国語			算数		
	全国	町	国との差	全国	町	国との差
元年度	63.8	52.0	-11.8	66.6	57.0	-9.6
3年度	64.7	53.0	-11.7	70.2	61.0	-9.2

<中学校第3学年>

	国語			数学		
	全国	町	国との差	全国	町	国との差
元年度	72.8	65.0	-7.8	59.8	48.0	-11.8
3年度	64.6	52.0	-12.6	57.2	46.0	-11.2

2 傾向・今後の方策

- 全国と比較すると平均正答率を下回る結果となっています。令和元年度と比較しても令和3年度は、その傾向は、ほぼ同じでした。中学校の国語では、全国との差が開きました。
- 令和4年度全国学力・学習状況調査は、令和4年4月19日（火）です。小学校6年生は国語・算数・理科の3教科、中学校3年生は、国語・数学・理科の3教科を実施します。そのため、3月までに学年の学習内容をしっかりと復習し、学習の定着を図ることが重要です。

II 令和3年度全国学力・学習状況調査の結果（児童・生徒質問紙調査）について

小学校6年生及び中学校3年生を対象に、全国学力・学習状況調査と同時に、児童・生徒の学習意欲や生活状況に関する質問紙調査も行われました。

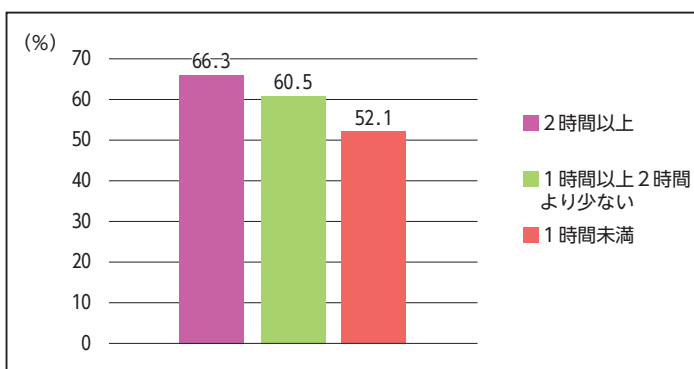
令和3年度 質問紙調査の結果（抜粋）（％）

1 平均正答率と意識調査の相関関係の例

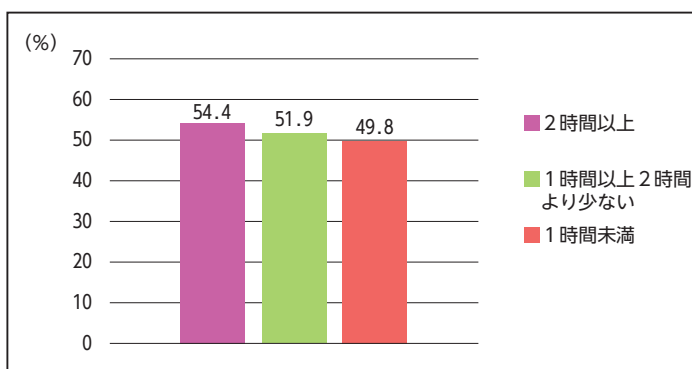
（瑞穂町の結果、点数は国語及び算数・数学の平均正答率を合わせた結果）

質問：学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

（小学校 第6学年）



（中学校 第3学年）



2 質問紙調査の結果のうち、瑞穂町において「課題となる項目」(抜粋)

<小学校第6学年>

黄色・・・前回より改善が見られた項目 青色・・・前回より下回った項目

質問事項	選択肢(抜粋)	令和3年度 町	全国	国との差	令和元年度 町	短評
学校の授業以外に普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか	3時間以上、2時間以上3時間より少ない	17.6	26.9	-9.3	28.5	1日あたりの勉強時間で、1時間未満の児童の割合が減少した。しかし、全国より、その割合は大きい。
	1時間以上2時間より少ない	28.1	35.6	-7.5	32.3	
	1時間未満、全くしない	54.3	37.5	16.8	39.3	
地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	当てはまる、どちらかといえば当てはまる	38.9	52.4	-13.5	48.1	地域に貢献しようとする児童の割合は、減少した。全国平均からも大きく下回っている。
5年までの授業で、発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、方法を工夫して発表していましたか	発表していた、どちらかといえば発表していた	53.8	63.5	-9.7	53.9	工夫して発表しようとしている児童の割合は、変化はなかった。全国平均からは、下回っている。

<中学校第3学年>

質問事項	選択肢(抜粋)	令和3年度 町	全国	国との差	令和元年度 町	短評
学校の授業以外に普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか	3時間以上、2時間以上3時間より少ない	31.9	41.8	-9.9	24.4	1日あたりの勉強時間で、2時間以上の割合が増加した。1時間未満の生徒の割合は減少した。
	1時間以上2時間より少ない	30.9	34.1	-3.2	25.5	
	1時間未満、全くしない	37.3	24.0	13.3	50.0	
家で、自分で計画を立てて勉強していますか	している・どちらかといえばしている	49.8	63.5	-13.7	36.3	自分で計画を立てて勉強する生徒の割合は増加傾向にあるが、全国平均を下回っている。
1、2年までの授業で、発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、方法を工夫して発表していましたか	発表していた、どちらかといえば発表していた	59.7	62.0	-2.3	48.6	改善されているが、個人差もあるので、一人一人が自分の考えを話せるよう、授業内容を工夫する。

3 傾向・分析から努力が必要な部分

○ 児童・生徒の学力調査と意識調査の相関関係を分析すると、授業時間以外に「1時間以上勉強をする」と「1時間未満しか勉強していない」では、学力調査の結果で4.5点以上の差が生じています。また、「発表していた」と「発表していなかった」では、10点以上の差が生じています。

- (1) 学校では、授業で主体的・対話的で深い学びの学習を推進します。また、ふるさと学習「みずほ学」を通して、協働的・探究的な学習、調べたことを発表する活動にも取り組んでいます。
- (2) 放課後学習「学びのテーマパーク」の取組を通して、週1回1時間程度の家庭学習を行っていますが、ご家庭でもぜひ、毎日1時間程度は勉強する時間を確保し、自学学習の態度を身に付けていくことを期待しています。また、表現する力を育むために、授業で学んだことなどを説明させるなど、自分の考えを話す機会をもっていただくよう、お願いします。